

○提案内容

(1)実現したい都市のビジョン

北広島市は、北海道の玄関口である新千歳空港と大都市札幌市の中間に位置し、居住、観光、ビジネスにおける交通利便性を有しながら、豊かな自然の中での暮らしを実現する人口約6万人の都市である。2018年10月に、プロ野球チーム北海道日本ハムファイターズ（以下：ファイターズ）の新たな本拠地となる（仮称）北海道ボールパーク（以下：ボールパーク）が、北広島市に建設されることが決定し、2023年の開業を目指して整備が進められている。ボールパークは、野球興行のみならず、北海道の食や自然を多くの方に体感してもらえるような魅力あふれるエリアとして整備される予定であり、商業機能や宿泊機能を兼ね備えた、北海道の新たなシンボルを目指すものである。このボールパークの整備を契機とし、北広島市は次の2つのビジョンを描いている。

①高次都市機能拠点の形成

北海道のシンボルとなるボールパークを核に、国際的・広域的な観光強化やスポーツ関連産業（メディカル・教育・食等）などを集積し、札幌圏の魅力と活力向上を牽引する拠点の形成

②生活支援機能の充実

新たな企業集積や、若者の定住を支える魅力的な住環境、高度な教育、充実した医療、地域の暮らしを支える交通体系などの都市機能・都市基盤の強化

(2)新技術の導入により解決したい都市の課題

※課題については、別紙3の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください（複数ある場合は、課題ごとに対応を記載ください）

解決する課題のイメージ	課題の分類
北広島市は、豊かに広がる自然林との共生のため、大きく5つの地区に分かれて形成された地区分散型の都市であり、地区間の移動は路線バスや車がメインであるが、地理的要因から地区間交流や機能連携が難しい現状がある。市のほぼ中心地にボールパークが整備されることで、各地区をつなぐハブ的な役割が期待されるが、周辺のよりよい交通体系の構築など、新たなまちづくりへの対応策が必要である。	(ア)交通・モビリティ
北広島市は、空港と大都市の中間という地理的優位性があるものの、目的地となり得にくく、通過型の都市という側面を有していたが、5年ほど前から市内大曲地区（道路による空港と大都市の中間地）に商業施設等が集積され、同地区は、道内はもとより海外からの観光客の目的地となり、年間1,500万人ほどが来訪するエリアとなった。しかしながら、同地区から市内他地区への周遊効果は少なく、市全体を捉えると、観光地としての確立には依然課題が残る。今回、鉄道としての中間地である市内東部地区においてボールパークが整備されることとなり、更なる交流人口の増加をまちづくりにダイレクトに活かすための施策展開が必要である。	(オ)観光・地域活性化

(3) 具体的に導入したい技術(既に想定しているものがある場合)

交通関係については、自動運転等による新たな移動ツールにより、これまでとは違ったアプローチによる課題解決を図っていき
たい。また、観光・地域活性化については、ビッグデータ等を活用した広域的な周遊施策の促進を図っていきたい。

(4) 解決の方向性(イメージでも可)

上記課題について、北海道ボールパーク及び北海道日本ハムファイターズと共通の認識を持ち、ボールパークと共に描くまちづ
くりとして、ソフト、ハード両面から課題解決を図っていきたい。

(5) その他

○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
企画財政部ボールパーク推進課	杉原 史惟	011-372-3311(内3632)	bpsuishin@city.kitahiroshima.lg.jp